

## 第4章 いじめ

「いじめ」の問題については、平成6年度より、小学校・中学校・高等学校に加え、特殊教育諸学校も調査の対象に含めている。

この調査では、いじめを「自分より弱いものに対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの。なお、起こった場所は学校の内外を問わないこととする。」として件数を把握した。

また、自らの学校にもいじめがあるのではないかとの問題意識をもって積極的な実態把握が行われるよう徹底を図った。

あわせて、従来の調査における定義から「学校としてその事実(関係児童生徒、いじめの内容等)を確認しているもの」との文言を削除するとともに、個々の行為がいじめに当たるか否かの判断を表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うよう、事前の指導の徹底を図った。

### (1) いじめの発生状況

いじめの発生件数は、小学校5,659件(前年度比 547件減)、中学校14,562件(前年度比2,073件減)、高等学校1,906件(前年度比213件減)、特殊教育諸学校78件(前年度比1件増)の合計22,205件(前年度比2,832件減)となっており、発生学校数は、小学校2,675校、中学校3,852校、高等学校1,029校、特殊教育諸学校43校の合計7,599校であり、平成7年度をピークに発生件数は7年連続で減少している。

なお、平成6年度より調査方法を改めたこと等もあり、発生件数等について、それ以前との単純な比較を行うことはできない。

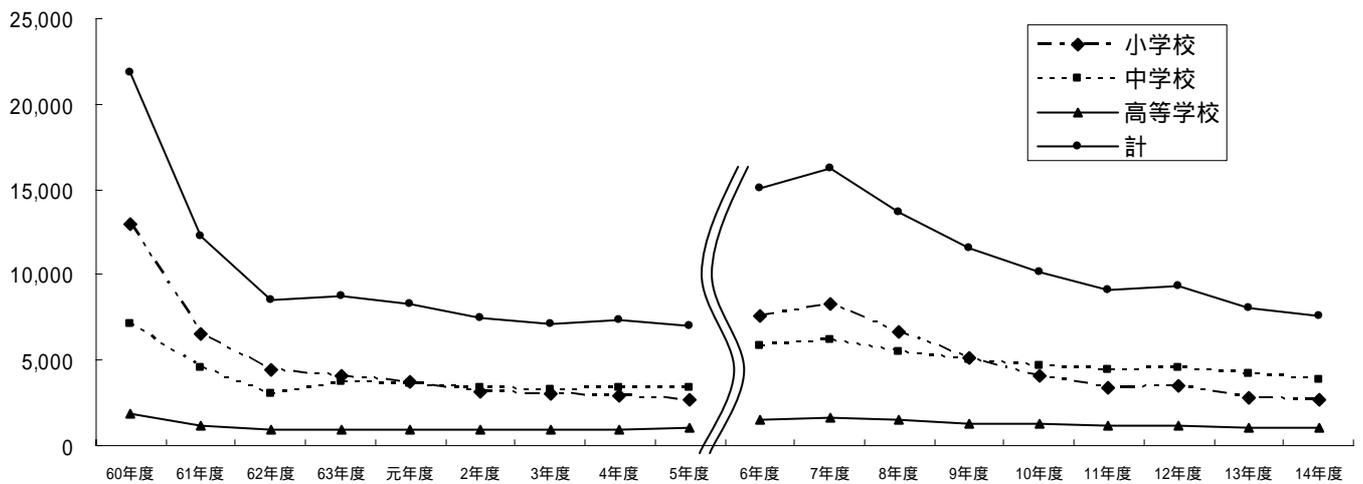
(表4-1) いじめの発生学校数・発生件数

区分		公立学校総 数：A(校)	発生学校 数：B(校)	発生率：B/A ×100(%)	発生件数：C (件)	発生件数の 増減率 (%)	1校あたり 発生件数： C/A(件)
小学校	平成6年度	24,390	7,626	31.3	25,295	-	1.0
	平成7年度	24,302	8,284	34.1	26,614	5.2	1.1
	平成8年度	24,235	6,638	27.4	21,733	18.3	0.9
	平成9年度	24,132	5,182	21.5	16,294	25.0	0.7
	平成10年度	24,051	4,118	17.1	12,858	21.1	0.5
	平成11年度	23,944	3,366	14.1	9,462	26.4	0.4
	平成12年度	23,861	3,531	14.8	9,114	3.7	0.4
	平成13年度	23,719	2,806	11.8	6,206	31.9	0.3
平成14年度	23,560	2,675	11.4	5,659	8.8	0.2	
中学校	平成6年度	10,568	5,810	55.0	26,828	-	2.5
	平成7年度	10,551	6,160	58.4	29,069	8.4	2.8
	平成8年度	10,537	5,463	51.8	25,862	11.0	2.5
	平成9年度	10,518	5,023	47.8	23,234	10.2	2.2
	平成10年度	10,497	4,684	44.6	20,801	10.5	2.0
	平成11年度	10,473	4,497	42.9	19,383	6.8	1.9
	平成12年度	10,453	4,606	44.1	19,371	0.1	1.9
	平成13年度	10,429	4,179	40.1	16,635	14.1	1.6
平成14年度	10,392	3,852	37.1	14,562	12.5	1.4	
高等学校	平成6年度	4,163	1,564	37.6	4,253	-	1.0
	平成7年度	4,164	1,650	39.6	4,184	1.6	1.0
	平成8年度	4,164	1,504	36.1	3,771	9.9	0.9
	平成9年度	4,164	1,285	30.9	3,103	17.7	0.7
	平成10年度	4,160	1,233	29.6	2,576	17.0	0.6
	平成11年度	4,148	1,133	27.3	2,391	7.2	0.6
	平成12年度	4,145	1,151	27.8	2,327	2.7	0.6
	平成13年度	4,146	1,050	25.3	2,119	8.9	0.5
平成14年度	4,136	1,029	24.9	1,906	10.1	0.5	
特殊教育諸学校	平成6年度	905	95	10.5	225	-	0.2
	平成7年度	905	98	10.8	229	1.8	0.3
	平成8年度	913	88	9.6	178	22.3	0.2
	平成9年度	917	72	7.9	159	10.7	0.2
	平成10年度	923	71	7.7	161	1.3	0.2
	平成11年度	928	59	6.4	123	23.6	0.1
	平成12年度	932	57	6.1	106	13.8	0.1
	平成13年度	936	50	5.3	77	27.4	0.1
平成14年度	933	43	4.6	78	1.3	0.1	
計	平成6年度	40,026	15,095	37.7	56,601	-	1.4
	平成7年度	39,922	16,192	40.6	60,096	6.2	1.5
	平成8年度	39,849	13,693	34.4	51,544	14.2	1.3
	平成9年度	39,731	11,562	29.1	42,790	17.0	1.1
	平成10年度	39,631	10,106	25.5	36,396	14.9	0.9
	平成11年度	39,493	9,055	22.9	31,359	13.8	0.8
	平成12年度	39,391	9,345	23.7	30,918	1.4	0.8
	平成13年度	39,230	8,085	20.6	25,037	19.0	0.6
平成14年度	39,021	7,599	19.5	22,205	11.3	0.6	

(参考) 平成5年度までのいじめの発生学校数・発生件数

区 分		公立学校総数 : A (校)	発生学校数 : B (校)	発生学校数の割合 : B/A × 100(%)	発生件数 : C (件)	発生件数の 増 減率 (%)	1校あたり 発生件数: C/A (件)
小学校	昭和60年度	24,796	12,968	52.3	96,457	-	3.9
	昭和61年度	24,739	6,560	26.5	26,306	72.7	1.1
	昭和62年度	24,692	4,497	18.2	15,727	40.2	0.6
	昭和63年度	24,658	4,135	16.8	12,122	22.9	0.5
	平成元年度	24,608	3,695	15.0	11,350	6.4	0.5
	平成2年度	24,586	3,163	12.9	9,035	20.4	0.4
	平成3年度	24,557	2,984	12.2	7,718	14.6	0.3
	平成4年度	24,487	2,883	11.8	7,300	5.4	0.3
	平成5年度	24,432	2,684	11.0	6,390	12.5	0.3
中学校	昭和60年度	10,346	7,113	68.8	52,891	-	5.1
	昭和61年度	10,517	4,532	43.1	23,690	55.2	2.3
	昭和62年度	10,555	3,061	29.0	16,796	29.1	1.6
	昭和63年度	10,585	3,696	34.9	15,452	8.0	1.5
	平成元年度	10,578	3,575	33.8	15,215	1.5	1.4
	平成2年度	10,588	3,403	32.1	13,121	13.8	1.2
	平成3年度	10,595	3,234	30.5	11,922	9.1	1.1
	平成4年度	10,596	3,440	32.5	13,632	14.3	1.3
平成5年度	10,578	3,371	31.9	12,817	6.0	1.2	
高等学校	昭和60年度	4,273	1,818	42.5	5,718	-	1.3
	昭和61年度	4,178	1,130	27.0	2,614	54.3	0.6
	昭和62年度	4,191	948	22.6	2,544	2.7	0.6
	昭和63年度	4,189	883	21.1	2,212	13.1	0.5
	平成元年度	4,183	969	23.2	2,523	14.1	0.6
	平成2年度	4,177	888	21.3	2,152	14.7	0.5
	平成3年度	4,170	954	22.9	2,422	12.5	0.6
	平成4年度	4,166	982	23.6	2,326	4.0	0.6
平成5年度	4,164	1,009	24.2	2,391	2.8	0.6	
計	昭和60年度	39,415	21,899	55.6	155,066	-	3.9
	昭和61年度	39,434	12,222	31.0	52,610	66.1	1.3
	昭和62年度	39,438	8,506	21.6	35,067	33.3	0.9
	昭和63年度	39,432	8,714	22.1	29,786	15.1	0.8
	平成元年度	39,369	8,239	20.9	29,088	2.3	0.7
	平成2年度	39,351	7,454	18.9	24,308	16.4	0.6
	平成3年度	39,322	7,172	18.2	22,062	9.2	0.6
	平成4年度	39,249	7,305	18.6	23,258	5.4	0.6
平成5年度	39,174	7,064	18.0	21,598	7.1	0.6	

(図4-1) いじめの発生学校数

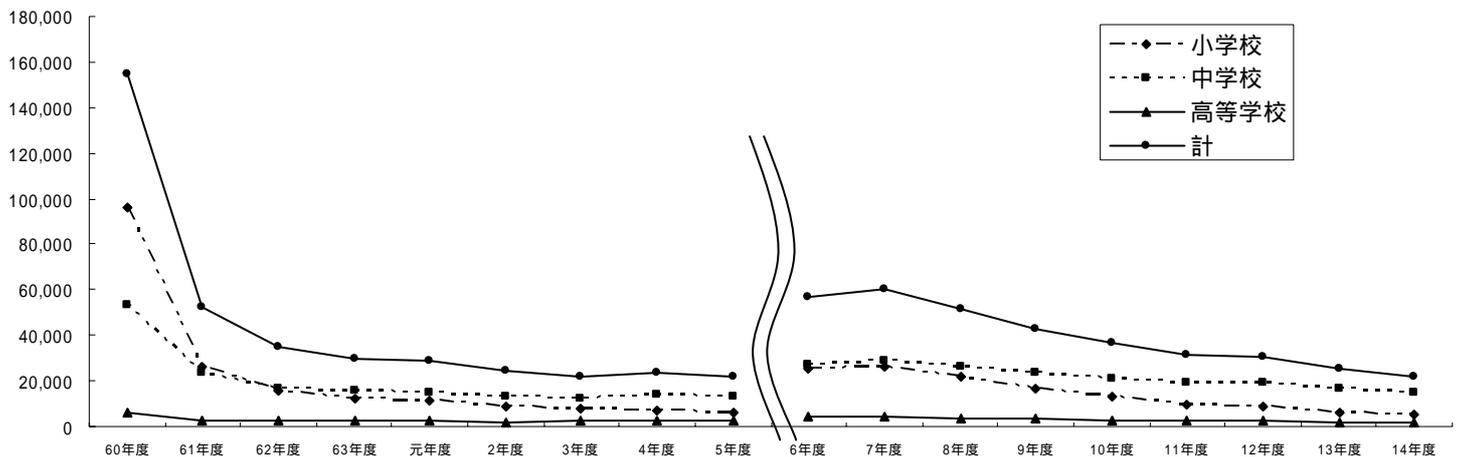


	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
小学校	12,968	6,560	4,497	4,135	3,695	3,163	2,984	2,883	2,684	7,626	8,284	6,638	5,182	4,118	3,366	3,531	2,806	2,675
中学校	7,113	4,532	3,061	3,696	3,575	3,403	3,234	3,440	3,371	5,810	6,160	5,463	5,023	4,684	4,497	4,606	4,179	3,852
高等学校	1,818	1,130	948	883	969	888	954	982	1,009	1,564	1,650	1,504	1,285	1,233	1,133	1,151	1,050	1,029
計	21,899	12,222	8,506	8,714	8,239	7,454	7,172	7,305	7,064	15,095	16,192	13,693	11,562	10,106	9,055	9,345	8,085	7,599

(注1) 平成6年度からは調査方法を改めたため、それ以前との単純な比較はできない。

(注2) 平成6年度以降の計には、特殊教育諸学校の発生件数も含む。

(図4-2) いじめの発生件数



	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
小学校	96,457	26,306	15,727	12,122	11,350	9,035	7,718	7,300	6,390	25,295	26,614	21,733	16,294	12,858	9,462	9,114	6,206	5,659
中学校	52,891	23,690	16,796	15,452	15,215	13,121	11,922	13,632	12,817	26,828	29,069	25,862	23,234	20,801	19,383	19,371	16,635	14,562
高等学校	5,718	2,614	2,544	2,212	2,523	2,152	2,422	2,326	2,391	4,253	4,184	3,771	3,103	2,576	2,391	2,327	2,119	1,906
計	155,066	52,610	35,067	29,786	29,088	24,308	22,062	23,258	21,598	56,601	60,096	51,544	42,790	36,396	31,359	30,918	25,037	22,205

## (2) いじめの都道府県別発生状況

(表4-2) 都道府県別いじめの発生件数

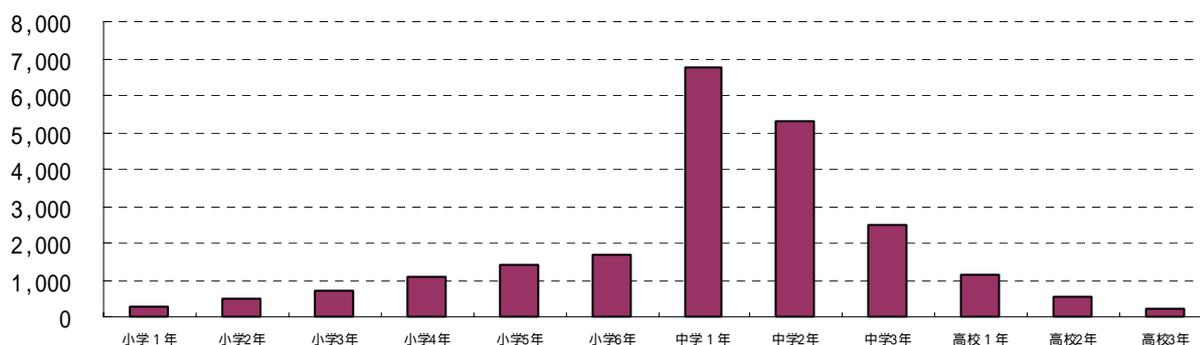
都道府県	小学校	中学校	高等学校	特殊教育 諸学校	発生件数	1,000人 当たりの 発生件数
1 北海道	290	754	147	4	1,195	1.9
2 青森県	83	299	28	4	414	2.3
3 岩手県	18	16	18	1	53	0.3
4 宮城県	86	307	55	3	451	1.7
5 秋田県	75	110	17	0	202	1.5
6 山形県	23	86	27	0	136	0.9
7 福島県	12	31	26	0	69	0.3
8 茨城県	337	418	61	0	816	2.3
9 栃木県	256	561	35	1	853	3.6
10 群馬県	93	44	24	0	161	0.7
11 埼玉県	181	714	72	14	981	1.3
12 千葉県	603	1,296	34	8	1,941	3.2
13 東京都	357	768	27	0	1,152	1.3
14 神奈川県	254	1,328	145	3	1,730	2.2
15 新潟県	137	374	47	7	565	1.9
16 富山県	46	70	4	0	120	1.0
17 石川県	68	136	41	0	245	1.8
18 福井県	55	103	11	0	169	1.7
19 山梨県	32	61	12	0	105	1.0
20 長野県	40	90	24	0	154	0.6
21 岐阜県	171	242	64	0	477	1.9
22 静岡県	89	497	52	4	642	1.5
23 愛知県	800	1,526	116	2	2,444	3.2
24 三重県	86	299	50	2	437	2.0
25 滋賀県	49	65	20	0	134	0.8
26 京都府	51	68	22	4	145	0.6
27 大阪府	306	672	144	1	1,123	1.3
28 兵庫県	134	881	56	4	1,075	1.8
29 奈良県	56	243	19	3	321	2.1
30 和歌山県	35	102	18	1	156	1.2
31 鳥取県	7	30	3	0	40	0.5
32 島根県	26	78	20	0	124	1.4
33 岡山県	97	249	65	0	411	1.9
34 広島県	113	346	60	0	519	1.7
35 山口県	80	266	35	1	382	2.4
36 徳島県	39	168	6	0	213	2.2
37 香川県	31	171	28	0	230	2.1
38 愛媛県	98	134	40	0	272	1.6
39 高知県	36	91	36	0	163	1.9
40 福岡県	39	128	18	1	186	0.3
41 佐賀県	11	34	8	0	53	0.5
42 長崎県	93	286	60	3	442	2.4
43 熊本県	10	33	17	1	61	0.3
44 大分県	55	126	19	0	200	1.4
45 宮崎県	4	8	13	0	25	0.2
46 鹿児島県	46	122	27	2	197	0.9
47 沖縄県	51	131	35	4	221	1.0
合計	5,659	14,562	1,906	78	22,205	1.6

(3) 学年別・男女別のいじめの発生件数

学年別の比較では，小学校から学年が進むにつれて多くなり，中学1年生が6,777件と約31%を占め，最も多くなっている。その後は学年が進むにつれて減少している。

男女別の比較では，小学校，中学校では男女の差はあまりないが，高等学校では，男子の占める割合が高くなっている。

(図4-3) 学年別いじめの発生件数



(表4-3) いじめの発生件数の学年別，男女別内訳

区 分		男子	女子	計
小学校	1年生	162	123	285
	2年生	283	186	469
	3年生	390	333	723
	4年生	574	519	1,093
	5年生	674	730	1,404
	6年生	741	944	1,685
	小計	2,824	2,835	5,659
中学校	1年生	3,524	3,253	6,777
	2年生	2,990	2,309	5,299
	3年生	1,456	1,030	2,486
	小計	7,970	6,592	14,562
高等学校	1年生	772	390	1,162
	2年生	341	184	525
	3年生	137	82	219
	小計	1,250	656	1,906
特殊教育 諸学校	小学部	8	4	12
	中学部	9	8	17
	高等部	28	21	49
	小計	45	33	78
合計		12,089	10,116	22,205

#### (4) いじめの発見のきっかけ

学校がいじめをどのようにして知ったかについては、小学校では「保護者からの訴え」（構成比34.4%）、中学校・高等学校・特殊教育諸学校では「いじめられた児童生徒からの訴え」（中学校の構成比34.2%、高等学校の構成比42.1%、特殊教育諸学校35.9%）がそれぞれ最も多くなっている。

(表4-4) いじめの発見のきっかけ

区分		小学校		中学校		高等学校		特殊教育諸学校		計	
		件数 (件)	構成比 (%)								
担任の教師が発見	13年度	1,703	27.4	3,655	22.0	266	12.6	18	23.4	5,642	22.5
	14年度	1,433	25.3	2,978	20.5	245	12.9	14	17.9	4,670	21.0
他の教師からの情報	13年度	197	3.2	1,347	8.1	221	10.4	11	14.3	1,776	7.1
	14年度	163	2.9	1,208	8.3	201	10.5	6	7.7	1,578	7.1
養護教諭からの情報	13年度	72	1.2	364	2.2	90	4.2	0	0.0	526	2.1
	14年度	96	1.7	343	2.4	78	4.1	0	0.0	517	2.3
スクールカウンセラー、心の教室相談員等からの情報	13年度	36	0.6	315	1.9	7	0.3	0	0.0	358	1.4
	14年度	26	0.5	202	1.4	20	1.0	0	0.0	248	1.1
いじめられた児童生徒からの訴え	13年度	1,562	25.2	5,759	34.6	873	41.2	21	27.3	8,215	32.8
	14年度	1,418	25.1	4,983	34.2	803	42.1	28	35.9	7,232	32.6
他の児童生徒からの訴え	13年度	548	8.8	1,718	10.3	224	10.6	10	13.0	2,500	10.0
	14年度	490	8.7	1,628	11.2	222	11.6	10	12.8	2,350	10.6
保護者からの訴え	13年度	1,997	32.2	3,192	19.2	335	15.8	12	15.6	5,536	22.1
	14年度	1,949	34.4	2,979	20.5	257	13.5	14	17.9	5,199	23.4
教育センター等関係機関からの訴え	13年度	16	0.3	46	0.3	10	0.5	0	0.0	72	0.3
	14年度	39	0.7	62	0.4	3	0.2	0	0.0	104	0.5
その他	13年度	75	1.2	239	1.4	93	4.4	5	6.5	412	1.6
	14年度	45	0.8	179	1.2	77	4.0	6	7.7	307	1.4
計	13年度	6,206	100.0	16,635	100.0	2,119	100.0	77	100.0	25,037	100.0
	14年度	5,659	100.0	14,562	100.0	1,906	100.0	78	100.0	22,205	100.0

(5) いじめの態様

いじめの態様については、小学校・中学校・高等学校では「冷やかし・からかい」(小学校の構成比 30.1% , 中学校の構成比 32.8% , 高等学校の構成比 28.4% ) , 特殊教育諸学校では、「言葉での脅し」(構成比 31.4%) がそれぞれ最も多くなっている。

小学校 , 中学校 , 高等学校と学校段階が上がるにつれて、「暴力を振るう」や「言葉での脅し」, 「たかり」の割合が増加している。

(表4 - 5) いじめの態様

区分		小学校		中学校		高等学校		特殊教育諸学校		計	
		件数 (件)	構成比 (%)								
言葉での脅し	13年度	1,477	16.8	4,201	18.5	677	21.3	26	23.4	6,381	18.3
	14年度	1,343	16.3	3,622	18.3	570	19.6	33	31.4	5,568	17.9
冷やかし・からかい	13年度	2,561	29.1	7,245	31.9	856	26.9	22	19.8	10,684	30.7
	14年度	2,484	30.1	6,506	32.8	826	28.4	20	19.0	9,836	31.6
持ち物隠し	13年度	625	7.1	1,668	7.3	176	5.5	6	5.4	2,475	7.1
	14年度	669	8.1	1,530	7.7	164	5.6	9	8.6	2,372	7.6
仲間はずれ	13年度	1,711	19.4	2,958	13.0	237	7.5	9	8.1	4,915	14.1
	14年度	1,582	19.1	2,562	12.9	255	8.8	13	12.4	4,412	14.2
集団による無視	13年度	517	5.9	1,318	5.8	85	2.7	4	3.6	1,924	5.5
	14年度	472	5.7	1,027	5.2	104	3.6	4	3.8	1,607	5.2
暴力を振るう	13年度	1,286	14.6	3,434	15.1	654	20.6	20	18.0	5,394	15.5
	14年度	1,135	13.7	2,926	14.7	560	19.3	14	13.3	4,635	14.9
たかり	13年度	111	1.3	580	2.6	189	5.9	10	9.0	890	2.6
	14年度	113	1.4	424	2.1	156	5.4	3	2.9	696	2.2
お節介親切の押しつけ	13年度	133	1.5	218	1.0	45	1.4	5	4.5	401	1.2
	14年度	110	1.3	241	1.2	41	1.4	4	3.8	396	1.3
その他	13年度	394	4.5	1,089	4.8	261	8.2	9	8.1	1,753	5.0
	14年度	356	4.3	1,007	5.1	231	7.9	5	4.8	1,599	5.1
計	13年度	8,815	100.0	22,711	100.0	3,180	100.0	111	100.0	34,817	100.0
	14年度	8,264	100.0	19,845	100.0	2,907	100.0	105	100.0	31,121	100.0

注) 複数回答

(6) いじめの解消状況

平成 14 年度に発生したいじめの状況は表 4 - 1 のとおりであるが、それらのうち、小学校で約 86%、中学校で約 86%、高等学校で約 91%、特殊教育諸学校で約 81%が平成 14 年度中に解消している。

(表 4 - 6) いじめの解消状況

区 分		いじめが解消しているもの		いじめが継続しており、 現在指導中		計
		件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)
小学校	13 年度	5,387	86.8	819	13.2	6,206
	14 年度	4,886	86.3	773	13.7	5,659
中学校	13 年度	14,456	86.9	2,179	13.1	16,635
	14 年度	12,575	86.4	1,987	13.6	14,562
高等学校	13 年度	1,955	92.3	164	7.7	2,119
	14 年度	1,735	91.0	171	9.0	1,906
特殊教育諸 学校	13 年度	70	90.9	7	9.1	77
	14 年度	63	80.8	15	19.2	78
計	13 年度	21,868	87.3	3,169	12.7	25,037
	14 年度	19,259	86.7	2,946	13.3	22,205

(7) いじめの問題に対する対応

いじめの問題についてどのような取組を行ったかをみると、小・中・高等学校及び特殊教育諸学校いずれも「職員会議等を通じて共通理解を図った」、「学校全体として児童・生徒会活動や学級活動などにおいて指導した」、「教育相談の体制を整備した」が多い。

(表4 - 7)いじめの問題に対する対応

区分		小学校		中学校		高等学校		特殊教育諸学校		計	
		件数 (件)	構成比 (%)								
職員会議等を通じて共通理解を図った	13年度	16,706	24.9	8,531	20.3	2,611	24.2	498	29.9	28,346	23.3
	14年度	17,202	25.6	8,644	20.9	2,753	25.2	492	31.1	29,091	24.1
全校的な実態調査を行った	13年度	6,980	10.4	4,710	11.2	1,037	9.6	99	6.0	12,826	10.6
	14年度	6,882	10.3	4,508	10.9	1,010	9.3	97	6.1	12,497	10.3
教育相談の体制を整備した	13年度	10,077	15.0	6,404	15.2	1,777	16.4	212	12.7	18,470	15.2
	14年度	10,308	15.4	6,354	15.4	1,744	16.0	189	12.0	18,595	15.4
学校全体として児童・生徒会活動や学級活動などにおいて指導した	13年度	12,337	18.4	6,547	15.6	1,871	17.3	464	27.9	21,219	17.5
	14年度	12,221	18.2	6,545	15.9	1,888	17.3	388	24.5	21,042	17.4
家庭や地域と協力して取り組むための協議の場を設けた	13年度	6,515	9.7	3,691	8.8	651	6.0	102	6.1	10,959	9.0
	14年度	6,308	9.4	3,482	8.4	655	6.0	105	6.6	10,550	8.7
学級通信などで取り上げ家庭との協力を図った	13年度	6,693	10.0	3,288	7.8	658	6.1	116	7.0	10,755	8.9
	14年度	6,489	9.7	3,119	7.6	631	5.8	114	7.2	10,353	8.6
養護教諭が指導にあたった	13年度	4,590	6.9	3,352	8.0	1,062	9.8	65	3.9	9,069	7.5
	14年度	4,648	6.9	3,213	7.8	1,023	9.4	66	4.2	8,950	7.4
スクールカウンセラー、心の教室相談員等が相談にあたった	13年度	1,774	2.6	4,549	10.8	707	6.5	17	1.0	7,047	5.8
	14年度	1,820	2.7	4,434	10.7	733	6.7	25	1.6	7,012	5.8
その他	13年度	1,293	1.9	950	2.3	429	4.0	90	5.4	2,762	2.3
	14年度	1,240	1.8	962	2.3	476	4.4	105	6.6	2,783	2.3
計	13年度	66,965	100.0	42,022	100.0	10,803	100.0	1,663	100.0	121,453	100.0
	14年度	67,118	100.0	41,261	100.0	10,913	100.0	1,581	100.0	120,873	100.0

注) 複数回答

(8) 就学校の指定変更等を行った市町村数及び児童生徒数

平成 14 年度に、いじめの問題により、就学校の指定変更又は区域外就学を認められた児童生徒は、小学校で 114 人、中学校で 248 人である。

また、就学校の指定の変更等を認めた事例のある市町村数は、158 市町村である。

(表 4 - 8) 就学校の指定変更等を受けた児童生徒数 (人)

区分		平成 13 年度	平成 14 年度
小学校	1 年生	6	14
	2 年生	5	8
	3 年生	12	10
	4 年生	17	17
	5 年生	17	30
	6 年生	26	35
	計	83	114
中学校	1 年生	95	72
	2 年生	128	120
	3 年生	39	56
	計	262	248
特殊教育諸学校	小学部	0	0
	中学部	0	0
	計	0	0
合計		345	362

就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数	170	158
--------------------------	-----	-----